

IIxil ラフィス 上吊引戸 ライン枠 取付け説明書



●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠ 警告 …施工を誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠ 注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠ 警告

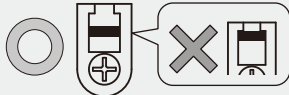


下記機器をお使いの方は操作をしないでください。
医療機器誤作動のおそれがあります。
(1) 体内埋込型機器
(2) 生命維持用機器
(3) 装着型心電計等

⚠ 注意



●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



●2人以上で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。

保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置き長期保管はソリ・ねじれとなるので、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。
- 採光窓および鏡面色本体の表面にはキズ保護用シートが張付けてあります。必ず手ではがしてください。



室内引戸 ライン枠
施工手順動画

5750952779001

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	枠施工後に天井ボード施工しましたか？	☐
2	ソフトモーション受け金具は指定のねじで固定しましたか？ (ソフトモーション仕様のみ)	☐
3	ライン幅木(樹脂)は、壁紙施工後にビニル共重合系接着剤で張付けしましたか？	☐



■床の張り方

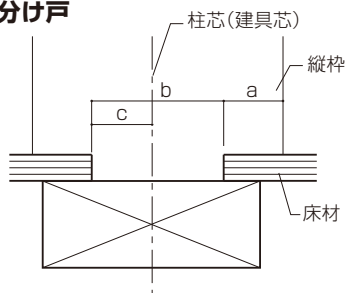
開口施工上のお願い

- 埋込ガイドピン仕様は開閉不良となるので、以下の床には取付けしないでください。
(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)

■埋込敷居

- ①床材を、下記寸法に合わせてすき間をあけて張ってください。

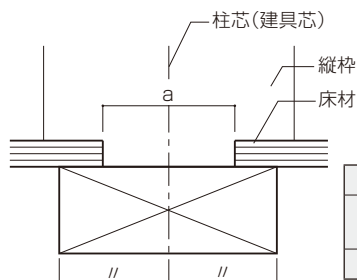
●片引戸・引分け戸



(単位:mm)

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
片引戸標準	19	30	0
片引戸2枚建	21.5	60	12
片引戸3枚建	19	100	30
引分け戸	19	30	0

●引違い戸2・3・4枚建

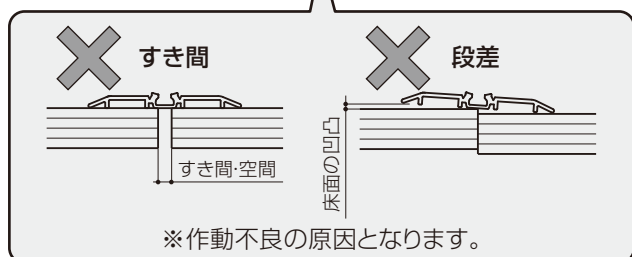
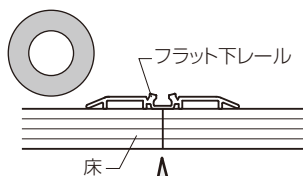


(単位:mm)

枠機種	a寸法
引違い戸 2枚建・4枚建	60
引違い戸3枚建	96

■ガイドピン／フラット下レール／埋込みガイドピン

- ①床材は段差なく、すき間なく張ってください。



3 枠の組立て

枠組立て上のお願ひ

●施工は、製品脱落・枠の垂下がり・ゆがみとなるので同梱のねじを使用してください。

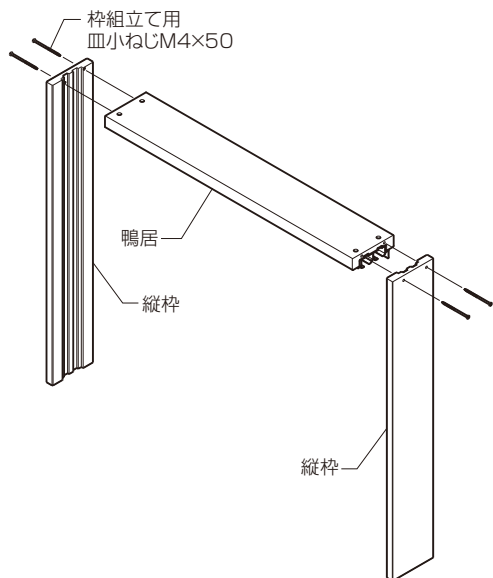
■枠部品セット

枠用部品セット		ソフトモーション仕様		ブレーキ仕様	
		片引戸	引違い戸	片引戸	引違い戸
枠組立て用 皿小ねじM4×50		4	4	4	4
鴨居取付け用 トラスタッピンねじφ4×50				9	12
鴨居・受け金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50		12	18		
縦枠取付け用 DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50		8	8	8	8
吊車(ソフトモーション付)		1	2		
吊車		1	2	2	4
ガイドピンセット		1	2	1	2
ソフトモーション 受け金具		2	4		
ブレーキ				1	2
ブレーキ取付け用 低頭小ねじM3×16				2	4
補強金具				1	2
ライン枠部品取付け用治具		1	1	1	1
仮止め用DNビス (皿木ねじ)φ3.8×50		3	3	3	3

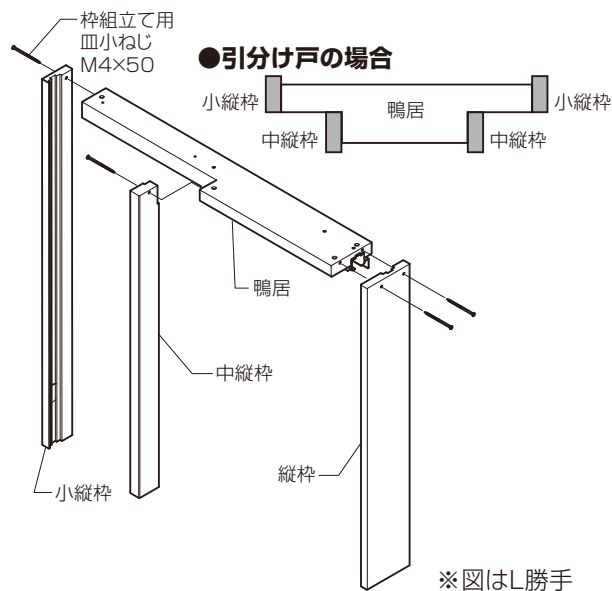
枠用部品セット		ソフトモーション仕様			
		片引戸 2枚建/ 引分け戸	片引戸 3枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建
枠組立て用 皿小ねじM4×50		4	4	4	4
鴨居・受け金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50		18	31	28	28
縦枠取付け用 DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50		8	8	8	8
吊車(ソフトモーション付)		2	3	3	4
吊車		2	3	3	4
ガイドピンセット					
ライン枠部品取付け用治具		1	1	1	1
ソフトモーションストッパー		1	2		2
ソフトモーションストッパー 取付用頭低小ねじM3×16		2	4		4
仮止め用DNビス (皿木ねじ)φ3.8×50		3	3	3	3

①下図のように同梱のねじで枠を組み立ててください。

●引違い戸



●片引戸・引分け戸



4 枠の取付け

枠取付け上のお願ひ

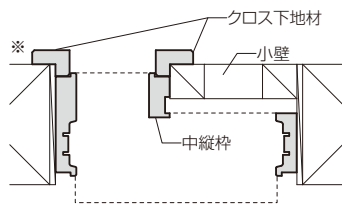
- コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
- 枠は必ず水平垂直に取付けしてください。
- 枠と躯体の間に、かい木の表裏に接着剤(※)を塗布してねじ固定部に入れてください。
- かい木は躯体(柱・胴縁含む)と同じ幅のものを使用してください。
- 鴨居が天井内に納まるので、枠を取付けしてから天井ボードの施工をしてください。

※：現場手配

- ①クロス下地材を使い、枠の奥行き方向の位置出しをしてください。
- ②枠と躯体の間にかい木を入れて鴨居、縦枠を指定のねじで固定してください。
(鴨居は4分割した位置に下穴をあけ、ねじの頭がでないように3本で固定してください。)
- ③中縦枠は、接着剤を塗布して隠し釘で固定してください。

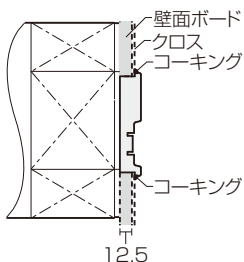
●枠の位置出し(奥行き方向)

クロス下地材を当てて、位置を出します。

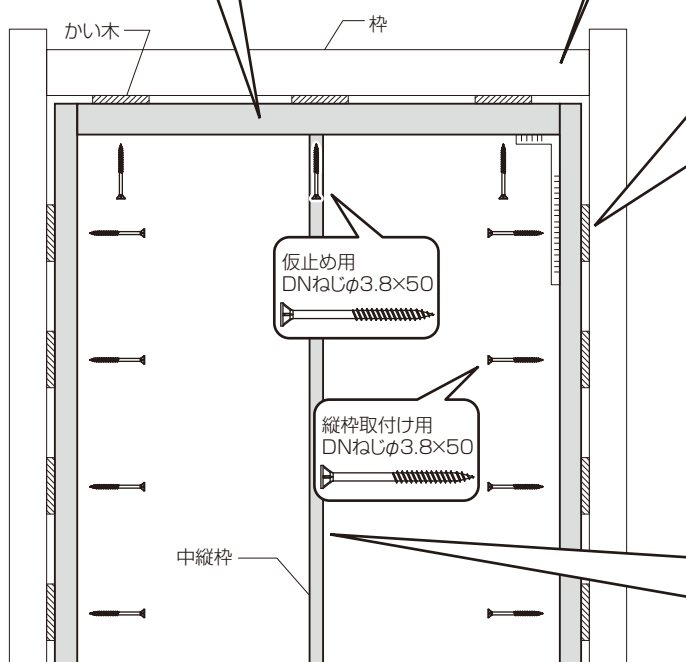


●入隅の場合

入隅の場合は、クロス下地材を使いません。



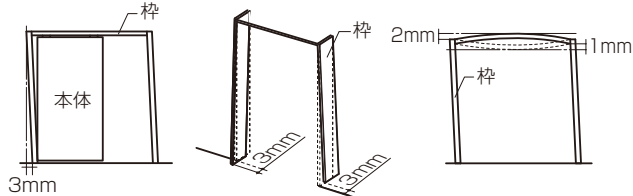
※図はL勝手



●取付け精度について

下図の範囲内で必ず取付けしてください。

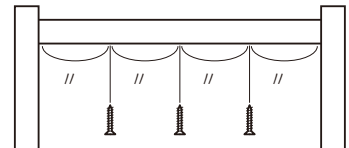
横方向の倒れ 奥行き方向のねじれ 枠のタイコ・ツツミ



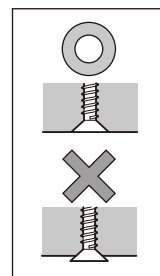
※範囲を超えると作動不良となります。

●鴨居の固定

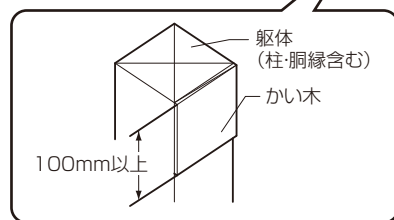
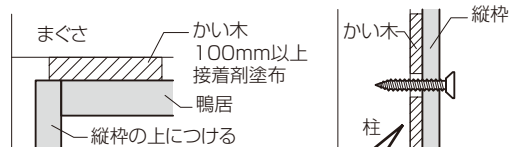
4分割した位置に下穴をあけて3本で固定



×すでに穴のあるところはNG
×ねじ頭の出NG



●かい木について



●中縦枠の固定

かくし釘 (現場手配) 中縦枠 接着剤 (現場手配)

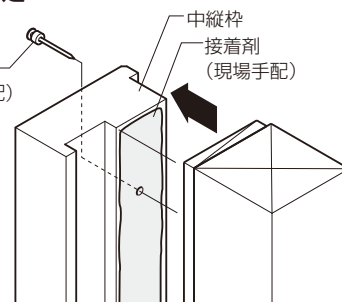


図-1 床部の施工(埋込敷居)

- ①戸じゃくりに端部ピースを合わせて、敷居を固定してください。
- ②下レールに当て木をあててプラスチックハンマー等でたたき込んでください。
- ③戸当りの長さを合わせてカットし、接着剤を塗布して枠に取付けてください。
- ④片引戸2、3枚の場合
縦枠の戸じゃくりのない部分にVレールスペーサーを入れてください。

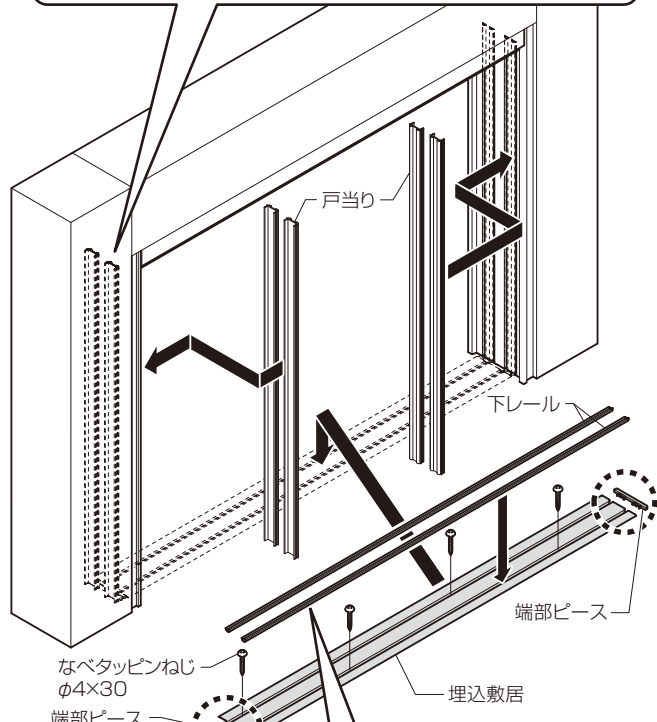
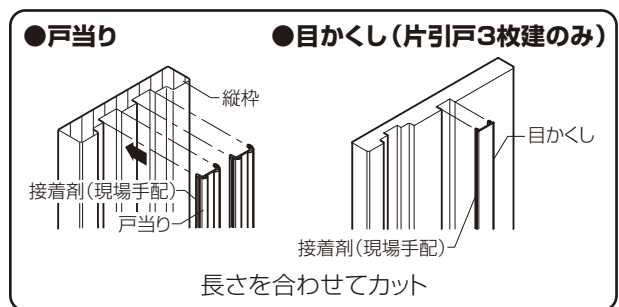
■埋込敷居用部品セット

	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建
戸じゃくりピース1本用端部ピース	2個	1個	1個
戸じゃくりピース2本用端部ピース	—	1個	—
戸じゃくりピース3本用端部ピース	—	—	1個
敷居取付け用なベタッピンねじφ4×30	5本	7本	9本
Vレールスペーサー	—	1個	2個

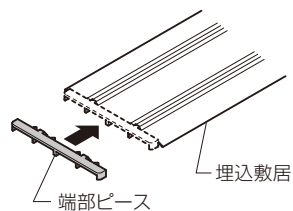
	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建
戸じゃくりピース1本用端部ピース	—	—	—
戸じゃくりピース2本用端部ピース	2個	—	2個
戸じゃくりピース3本用端部ピース	—	2個	—
敷居取付け用なベタッピンねじφ4×30	5本	7本	9本
Vレールスペーサー	—	—	—

	引分け戸
戸じゃくりピース1本用端部ピース	2個
戸じゃくりピース2本用端部ピース	—
戸じゃくりピース3本用端部ピース	—
敷居取付け用なベタッピンねじφ4×30	9本
Vレールスペーサー	—

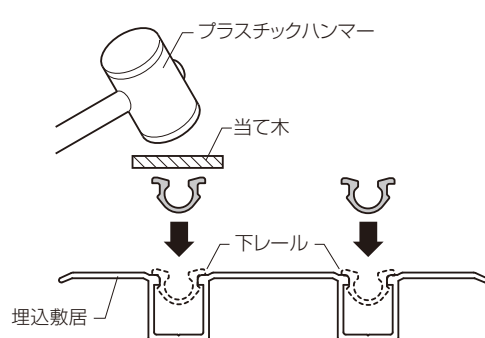
※片引戸用と引分け戸用に同梱されている中縦枠下部スペーサーは、本製品には使用しません。



●端部ピースの取付け



●下レールの取付け



片引き2・3枚建の縦枠側のみ

戸じゃくりの無いレールにVレールスペーサーを取付けます。

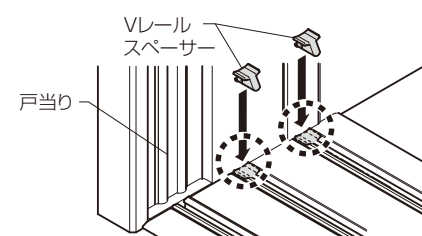
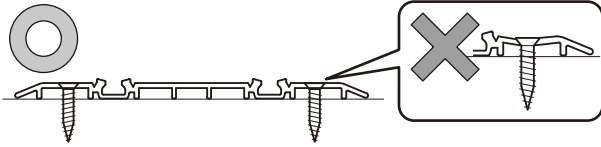


図-2 床部の施工(フラット下レール)

フラット下レール施工上のお願い

- 開閉不良になるので、固定ねじを締めすぎないでください。



- ①端部ピースをフラット下レールの端部に差し込んでください。
- ②戸じゃくりに端部ピースを合わせて、レールを固定してください。
- ③戸当りの長さを合わせてカットし、接着剤(現場手配)を塗布して枠に取付けてください。

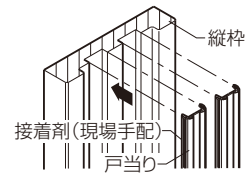
■フラット下レール用部品セット

	片引戸	片引戸 2枚建	片引戸 3枚建
フラット下レール取付け用頭塗装 皿タッピンねじφ4×18	14本	22本	28本
フラット下レール1本引き用端部ピース	2個	1個	1個
フラット下レール2本引き用端部ピース	—	1個	—
フラット下レール3本引き用端部ピース	—	—	1個

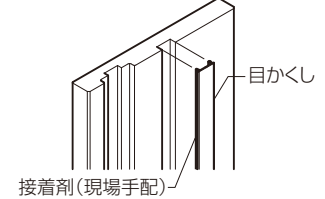
	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建
フラット下レール取付け用頭塗装 皿タッピンねじφ4×18	14本	22本	28本
フラット下レール1本引き用端部ピース	—	—	—
フラット下レール2本引き用端部ピース	2個	—	2個
フラット下レール3本引き用端部ピース	—	2個	—

	引分け戸
フラット下レール取付け用頭塗装 皿タッピンねじφ4×18	28本
フラット下レール1本引き用端部ピース	2個
フラット下レール2本引き用端部ピース	—
フラット下レール3本引き用端部ピース	—

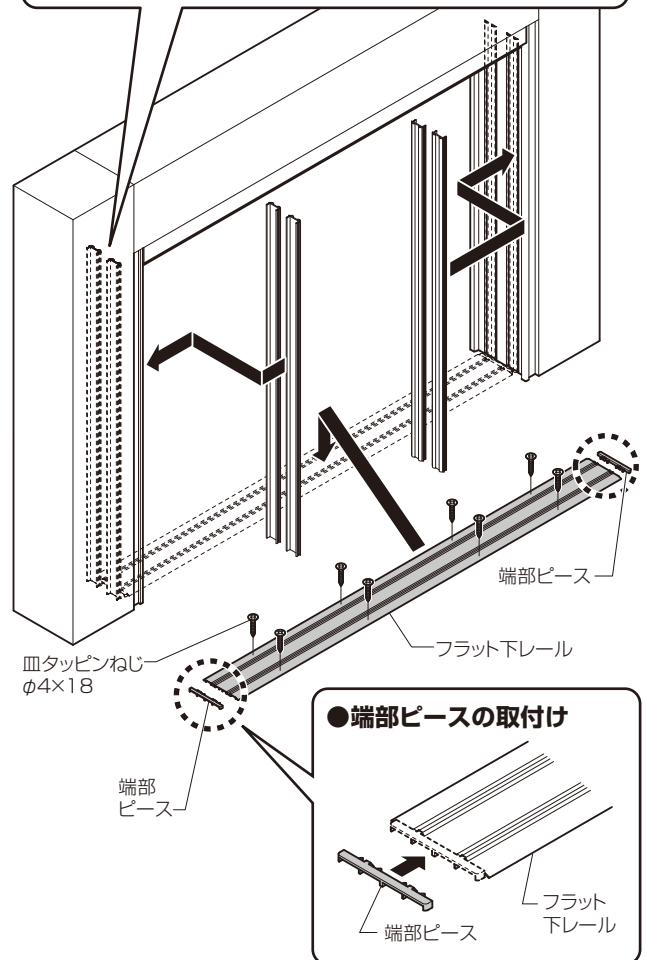
●戸当り



●目かくし(片引戸3枚建のみ)



長さを合わせてカット



●端部ピースの取付け

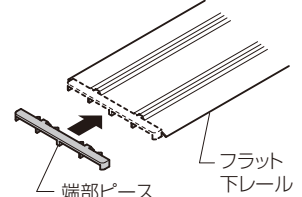
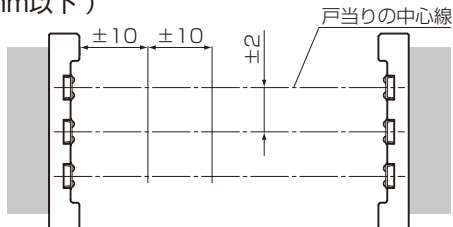


図-3 床部の施工(埋込みガイドピン)

埋込みガイドピン施工上のお願い

- 開閉不良となるので、以下の床には取付けしないでください。(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)
- 開閉時に本体がガイドピンから外れるので、()内の施工精度守ってください。(開閉方向: $\pm 10\text{mm}$ 以下、面方向: $\pm 2\text{mm}$ 以下)



- 開閉不良となるので、ガイドピン用の加工穴は垂直にして、バリ、切粉を取り除いてください。
- ガイドピンベースの取付けは、破損するので直接たたかず、必ずあて木をしてください。

■埋込みガイドピンセット明細

埋込みガイドピンセット

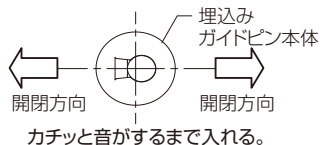


部品名称	片引戸	片引戸 2 枚建	片引戸 3 枚建	引違い戸 2 枚建	引違い戸 3 枚建	引違い戸 4 枚建	引分け戸
8 個入セット	—	—	—	—	—	—	1
10 個入セット	—	1	—	—	—	—	—
16 個入セット	—	—	—	—	—	1	—
18 個入セット	—	—	1	—	1	—	—

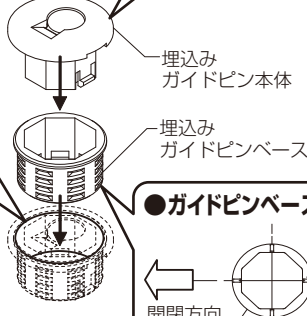
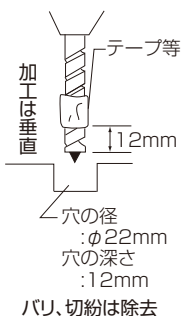
- ①埋込みガイドピン配置図を参考に床に穴あけの位置出しをしてください。
- ② $\phi 22\text{mm}$ 深さ12mmの穴をあけてください。
- ③加工穴にガイドピンベースの溝を開閉方向に合わせてはめ込んでください。
- ④ガイドピン本体を下図の向きにカチッと音がするまで入れてください。

※本体の吊込み後位置調整を行います。

●ガイドピン本体取付け方向



●加工穴について



●ガイドピンベース取付け方向

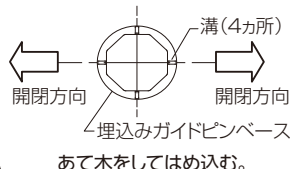


図-4 埋込みガイドピン施工位置

名称		A		B		W
片引戸2枚建	751	$(W-176)/3$	297	$(W+244)/9$		2429
片引戸3枚建	751	$(W-210)/4$	335	$(W+138)/10$		3214
引違い戸3枚建	751	$(W-176)/3$	297	$(W+244)/9$		2429
引違い戸4枚建	751	$(W-257)/4$	287	$(W+185)/12$		3261
引分け戸	751	$(W-257)/4$	287	$(W+185)/12$		3261

●埋込みガイドピン配置図

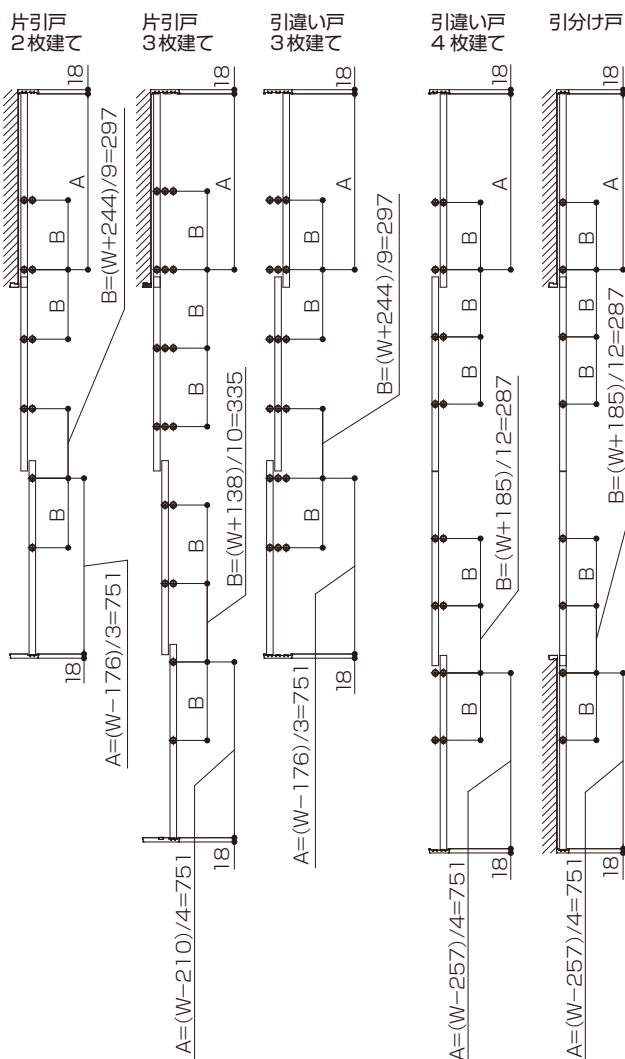
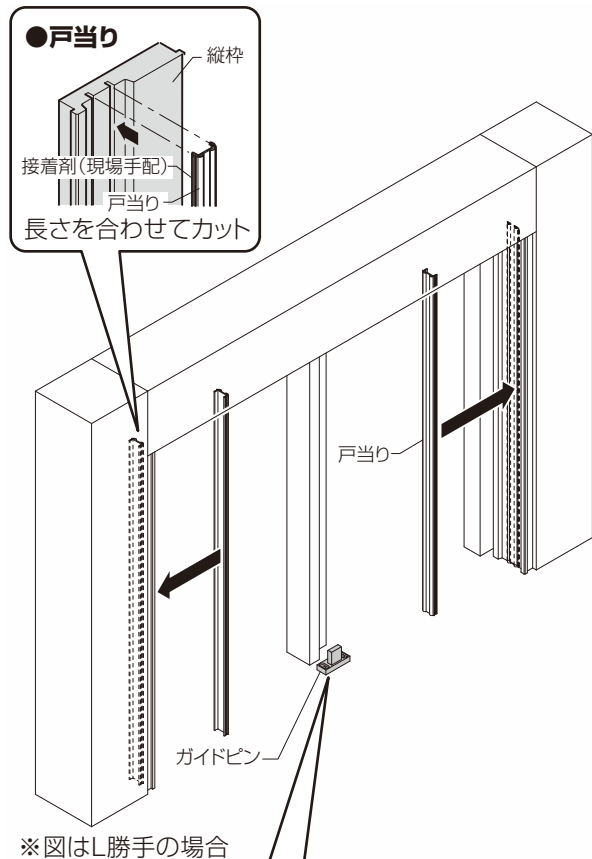


図-5 床部の施工(ガイドピン)

- ①ガイドピンを床の指定の位置に固定してください。
- ②戸当りの長さを合わせてカットし、接着剤を塗布して枠に取付けてください。



●ガイドピン固定位置

片引戸(L勝手)

R勝手は対照となります。

引違い戸

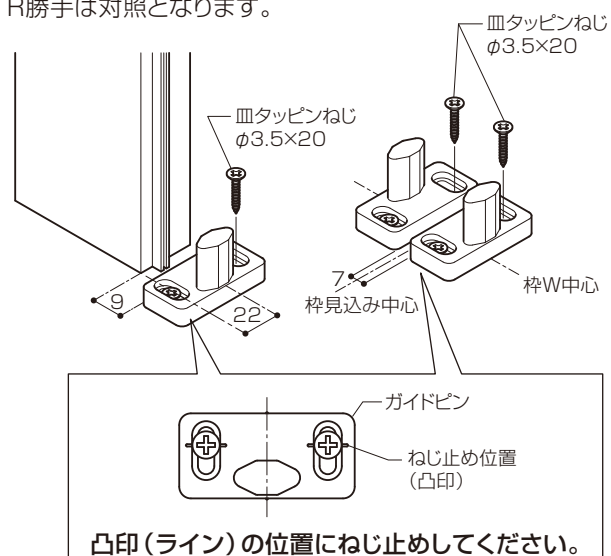


図-6 小壁上部すき間埋め部材の取付け

片引戸・引分け戸のみ

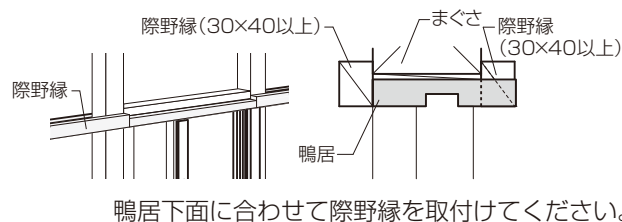
- ①天井下地と小壁を仕上げてください。
- ②小壁上部すき間埋め部材をC寸法にカットしてください。
- ③小壁と鴨居レール用溝の間に接着剤(※)とかくし釘で固定してください。

※：現場手配

天井下地の取付け

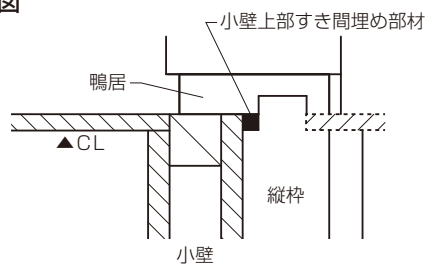
●際野縁・野縁の取付け

※片側の際野縁は鴨居に突き当ててください。

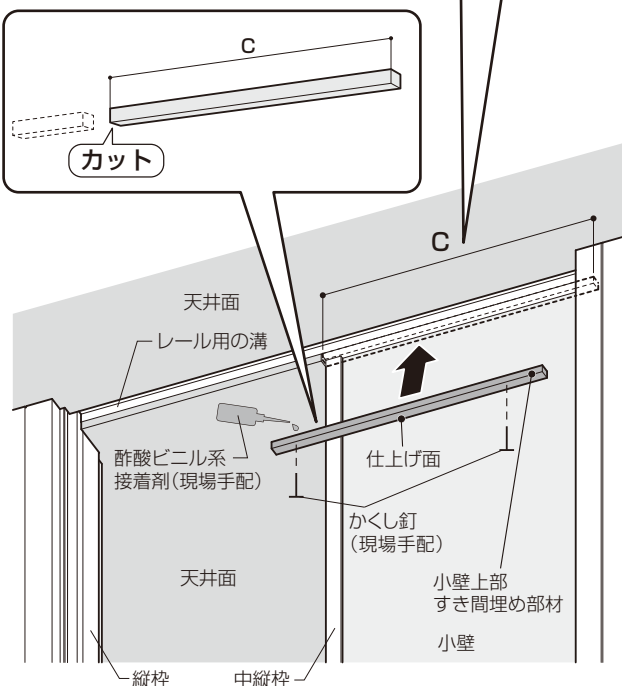
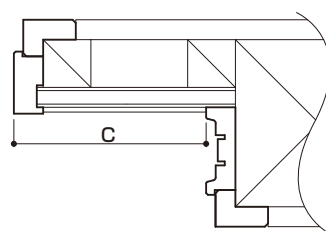


●納まり図

縦断面図



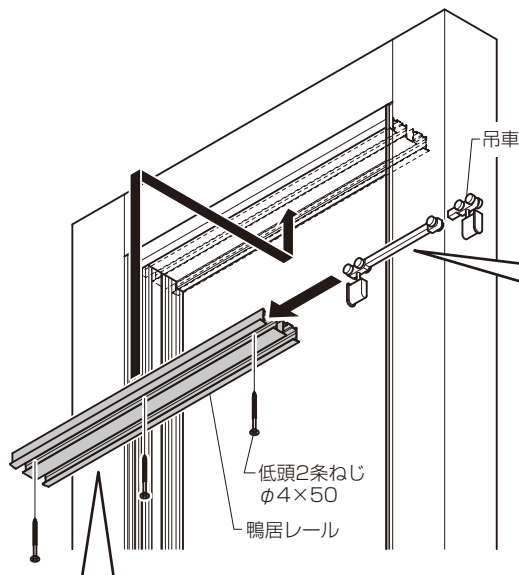
横断面図



7 鴨居レールの取付け

鴨居レール取付け時のお願い

- 本体作動不良になるので、鴨居固定ねじは締めすぎないでください。
- 枠固定時、ソフトモーションを機能させるため、吊車は受け金具の中間に入れてください。
- 受け金具は緩み防止のため、鴨居レール固定後に固定してください。

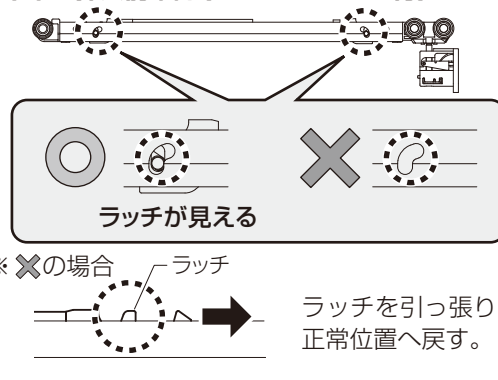


① 鴨居レールに吊車を指定の向きに挿入してから枠に指定のねじで固定してください。

② 部品取付け治具を用いて以下部品を指定のねじで固定してください。

ソフトモーション仕様：受け金具、ストッパー（4枚建て、引分け戸）
ブレーキ仕様：ブレーキ部品、補強部品

● 吊車の挿入前確認（ソフトモーション付）

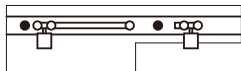


● 吊車挿入向きと部品位置

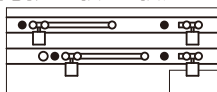
● ソフトモーション仕様



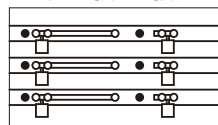
片引戸



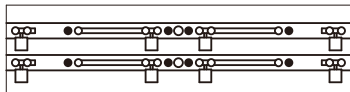
片引戸2枚、3枚建



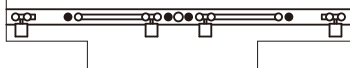
引違い戸2枚、3枚建



引違い戸4枚建



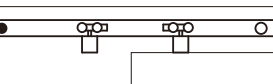
引分け戸



● ブレーキ仕様



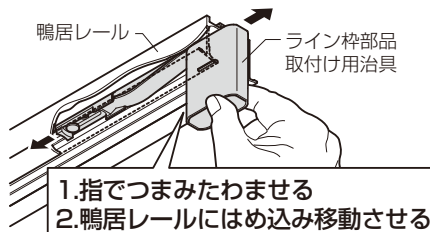
片引戸



引違い戸



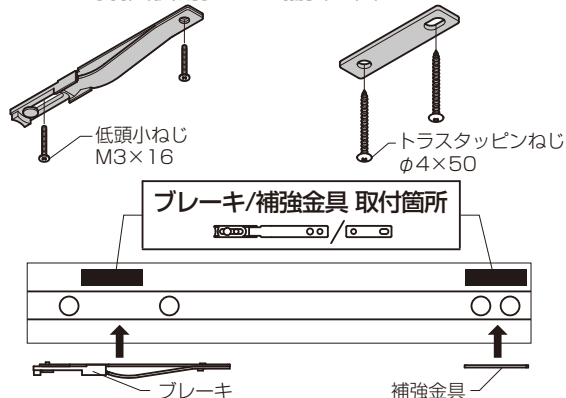
● 各部品の取付け方法



● ソフトモーション仕様（取付け箇所にはシールあり） 受け金具 ストッパー（治具使用）



● ブレーキ仕様（取付け箇所にはシールあり） ブレーキ（治具使用） 補強金具



8 天井の施工

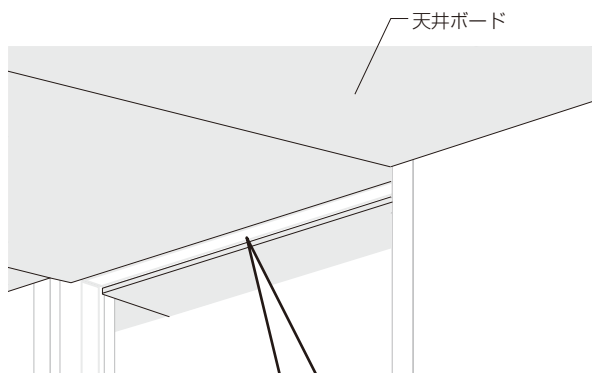
天井施工時のお願い

- 鴨居レールが変形して作動不良になるので、天井ボードを強く突き当てないでください。

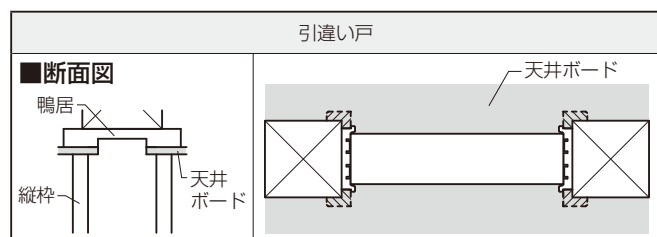
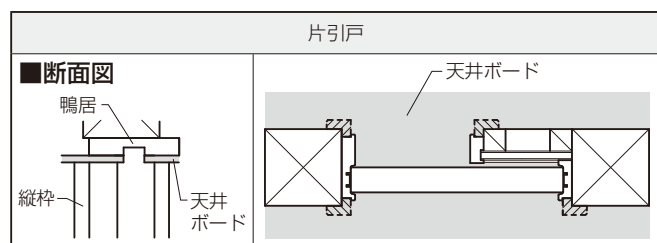
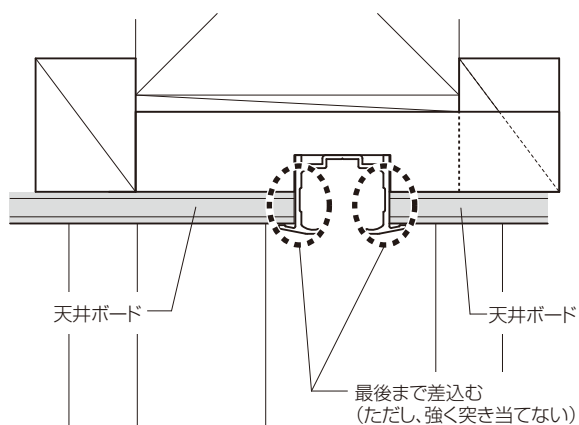
建築工事(天井ボードは現場手配)

本製品は9.5mm厚の天井ボードを標準設定としています。

- ①天井ボードを鴨居レール溝にいれて施工してください。



●天井ボードの施工



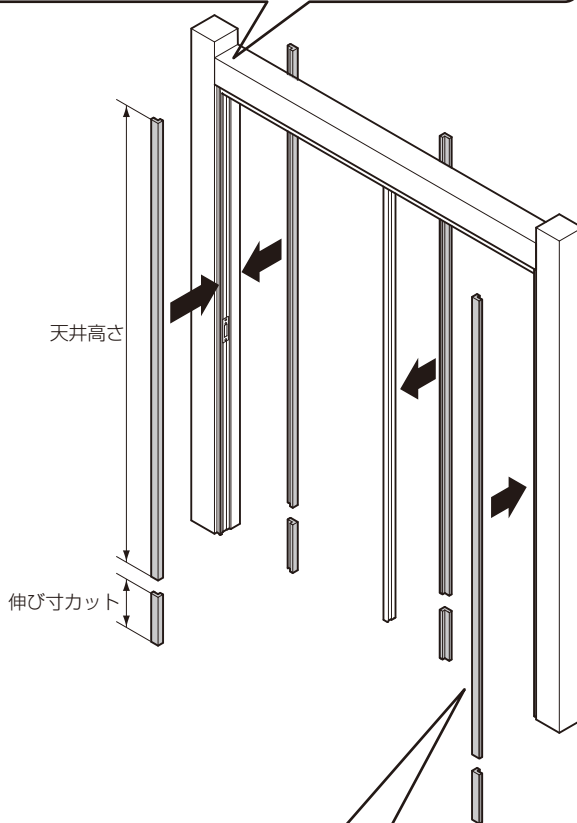
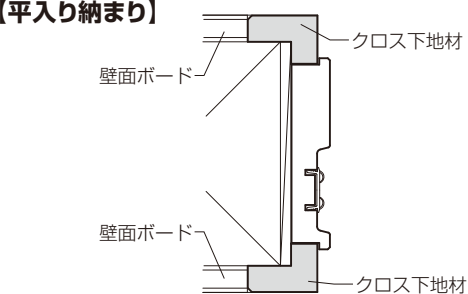
9 クロス下地材の施工

平入り納め部に施工してください。

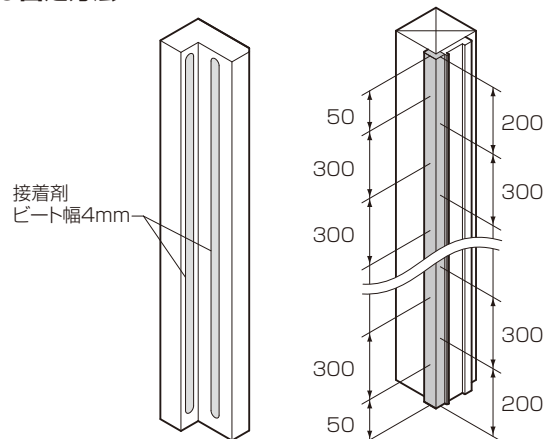
- ①クロス下地材を天井高に合わせてカットしてください。
- ②クロス下地材裏面に接着剤(※)を塗布して指定のピッチで隠し釘(※)で固定してください。

※：現場手配

【平入り納まり】



●固定方法



Ⅱ 壁面ボードとライン幅木の施工

ライン幅木施工のお願い

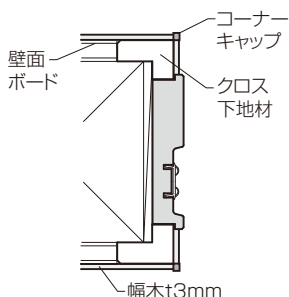
- ライン幅木(樹脂)は剥がれるので、壁紙の上からソフト幅木用接着剤(※)で張付けしてください。
※: ビニル共重合系接着剤

■ライン幅木(樹脂)

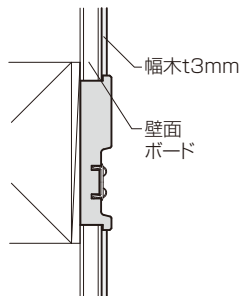
- ①壁面ボードと壁紙を施工をしてください。
- ②壁紙の上から専用接着剤でライン幅木を張付けしてください。

クロス⇒幅木の順で取付け

【平入り納まり】



【両入隅納まり】

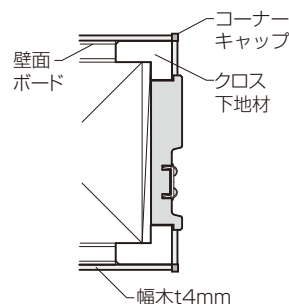


■ライン幅木(木質)

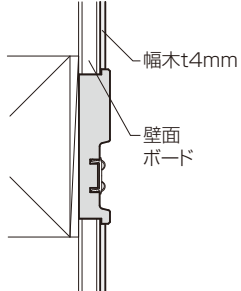
- ①壁面ボードを施工してください。
- ②ライン幅木の裏面全体に接着剤(現場手配)を塗布して張付けてください。
- ③かくし釘(200～300mmピッチ)で固定してください。

幅木⇒クロスの順で取付け

【平入り納まり】



【両入隅納まり】



グランドラインラフィス
ライン幅木
施工手順動画



5217969977001

Ⅲ-1 本体の吊込み(ガイドピン、床見切り仕様)

▲ 注 意



- 必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



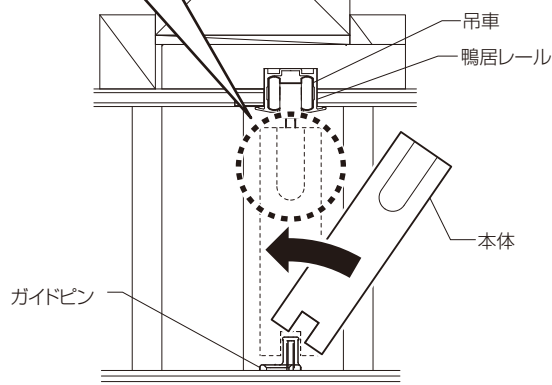
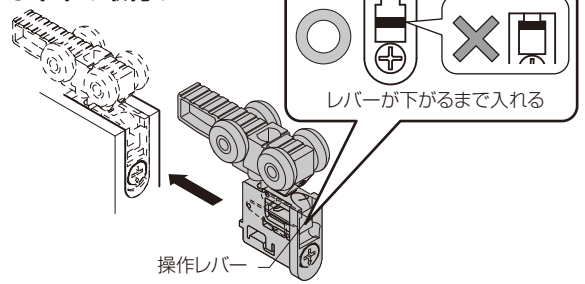
- 2人以上で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。

本体吊込み上のお願

- 本体Hが大きく天井や壁にぶつけやすいので、搬入・吊込み時は注意してください。

- ①本体をガイドピンにはめてから、持ち上げて吊車を最後まで押し込んでください。

●吊車の取付け

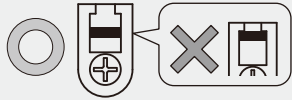


Ⅲ-2 本体の吊込み(フラット下レール、埋込敷居仕様)

▲ 注 意



●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



●2人以上で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。

本体吊込み上のお願ひ

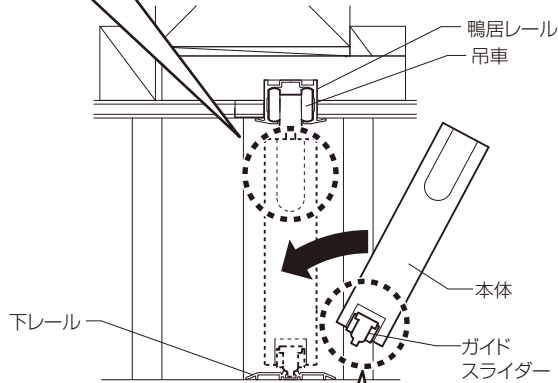
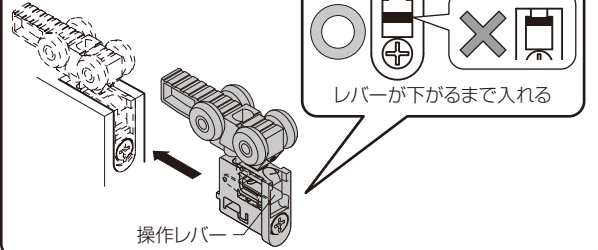
●開閉不具合になるのでレールの汚れ、ゴミを取り除いてください。



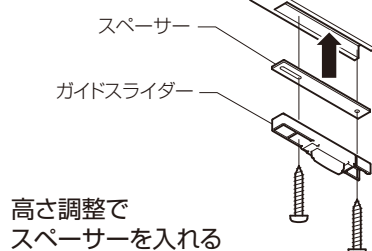
●本体Hが大きく天井や壁にぶつけやすいので、搬入・吊込み時は注意してください。

- ①埋込敷居の場合：本体のガイドスライダーを一旦外してください。高さ調整のスペーサーを入れて再度取付けしてください。
- ②本体を下レールにはめてから、持ち上げて吊車を最後まで入れ込んでください。

●吊車の取付け



●埋込敷居仕様の場合

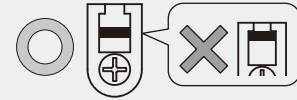


Ⅲ-3 本体の吊込み(埋込みガイドピン仕様)

▲ 注 意



●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。扉が脱落します。



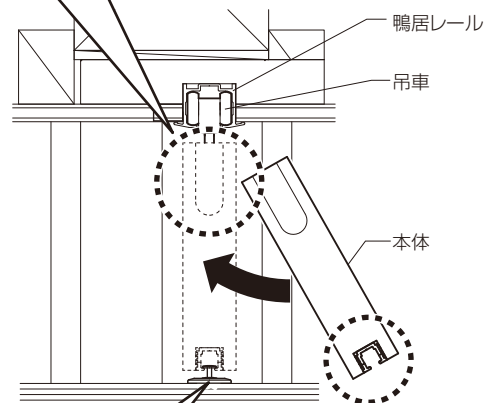
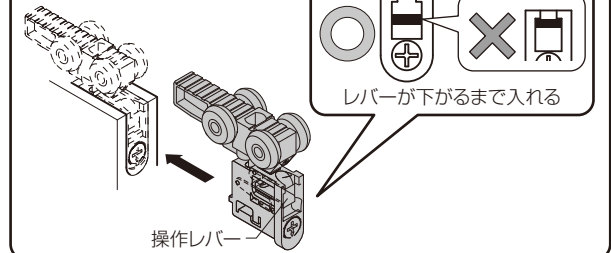
●2人以上で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。

本体吊込み上のお願ひ

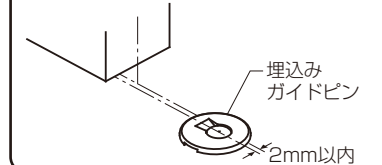
●本体Hが大きく天井や壁にぶつけやすいので、搬入・吊込み時は注意してください。

- ①本体に吊車を最後まで入れ込んでください。
- ②埋込みガイドピンが本体中心から±2mm以内か確認してください。

●吊車の取付け



●埋込みガイドピンの位置確認



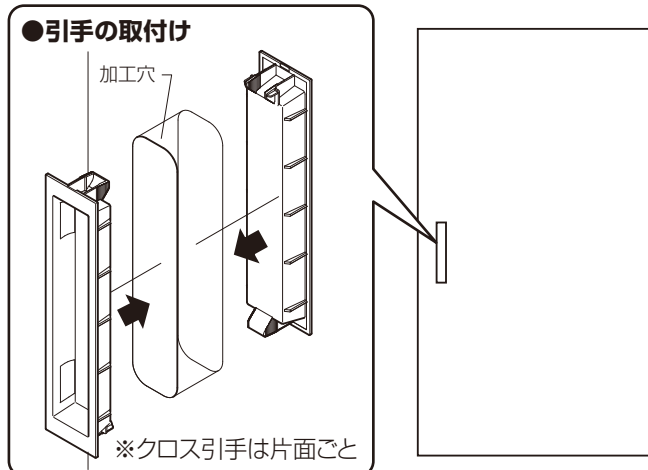
図本体への部品取付け(吊込み後)

■引手の取付け

- ①仮組みされた引手は平行に引き抜いてください。
 - ②引手を本体加工穴に押し込み固定してください。
- ※クロス引手の場合は、片面ごとに押し込み固定してください。

■引手セット(別売)

名称	入数
引手	2個

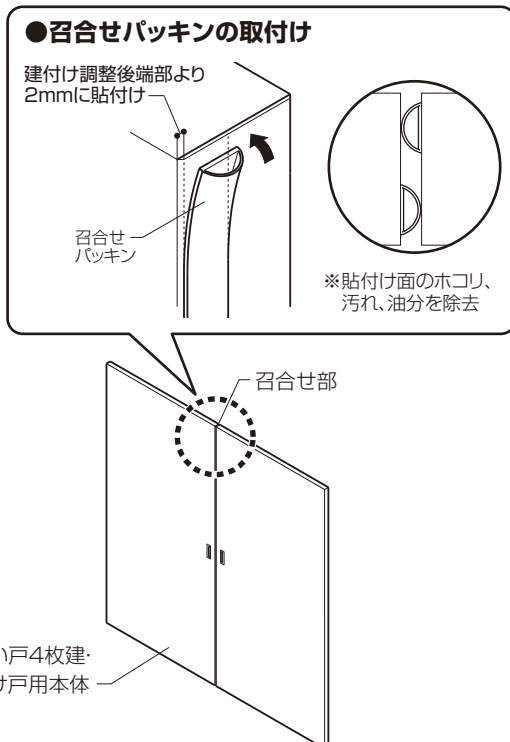


■召合せパッキンの取付け(4枚建て、引分け戸の場合)

- ①必ず本体建付け調整後に作業してください。
- ②貼付け面のホコリ、汚れ、油分を取除いてください。
- ③パッキン裏面のシートをはがし、下図のように約5kg程度の力で張付けてください。
- ④パッキンは長めなので、現場でカットしてください。

■召合せパッキンセット(別売)

名称	入数
召合せパッキン	2本



■錠の取付け

錠の取付け説明書を参照してください。

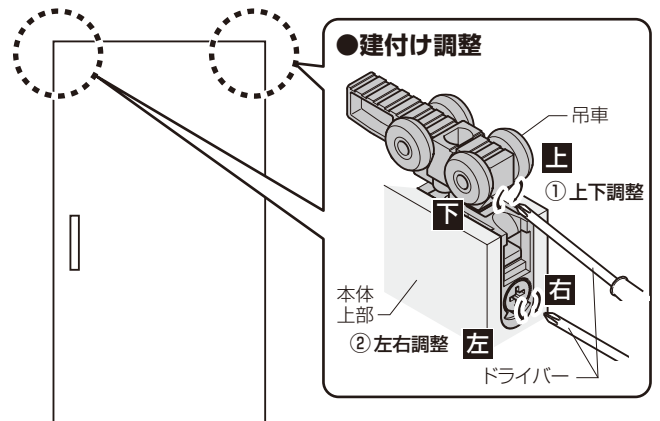
図本体側の調整について

本体調整上のご願い

- 本体と床のすき間が範囲から外れると以下のような不具合となります。(本体下部のはずれ、引戸下部のこすれ)

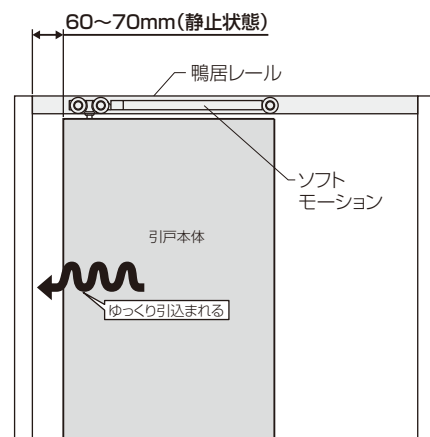
●建付け調整について

- ①上下調整(+4mm、-1mm)
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ②左右調整(±2mm)
ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



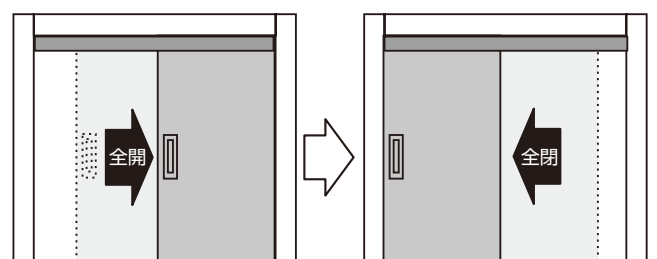
●ソフトモーションについて

- ・静止状態で枠から60～70mmで引き込みされます。
- ・開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



●ソフトモーションが機能しない場合(自動復帰)

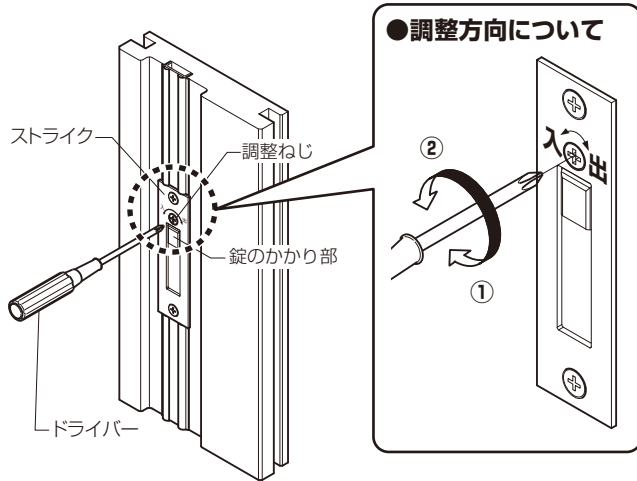
- ①本体を全開してください。
 - ②本体を全閉してください。
 - ③復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性があります。



14-1 枠側の調整について

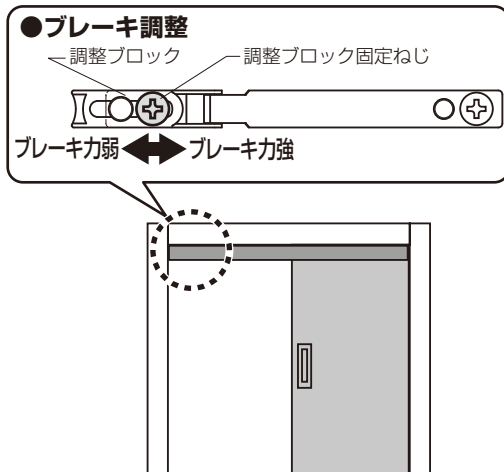
●引戸錠のかかり調整

- ①錠がかからない場合、右に回してください。
- ②枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



●ブレーキ調整について

- ①調整ブロック固定ねじを2回転までゆるめてください。
- ②調整ブロックを動かして固定してください。



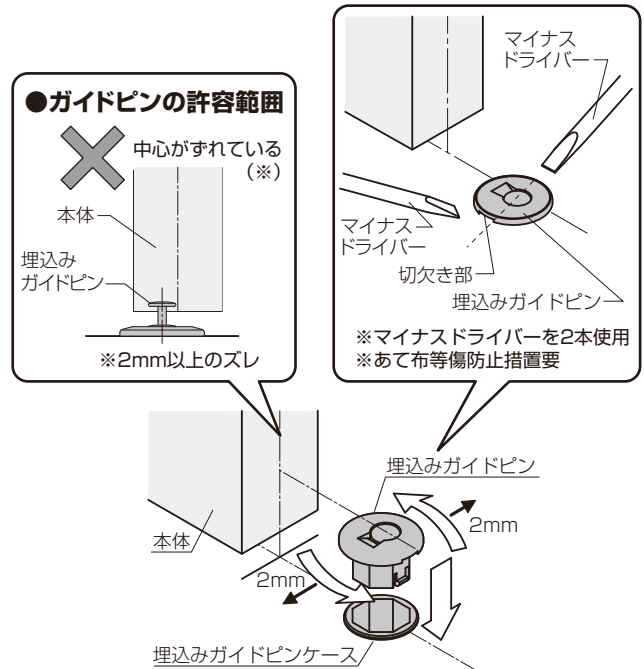
14-2 枠側の調整について

埋込みガイドピン調整時のお願い

- 床が損傷するので、作業前にあて布等の損傷防止措置を行ってください。
- ガイドピンが破損するので、必ずマイナスドライバー2本で外してください。
- 開閉時ガイドピンから本体が外れるので、本体中心からズレは±2mm以内に調整してください。
- 作動不良になるので、ガイドピン本体内のゴミは必ず取除いてください。

●埋込みガイドピンの調整(調整幅4mm)

- ①ガイドピンにある切欠きにそれぞれマイナスドライバーを入れて外してください。
- ②本体を静止させて、ガイドピンを回して本体とのズレを2mm以下にしてください。
- ③調整が完了したら、カチッと音がするまでガイドピンを最後まで入れてください。

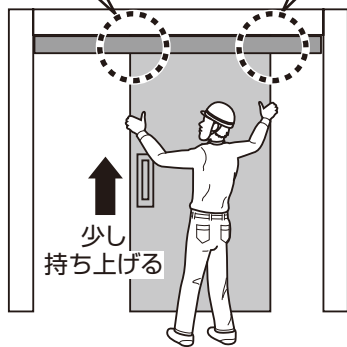
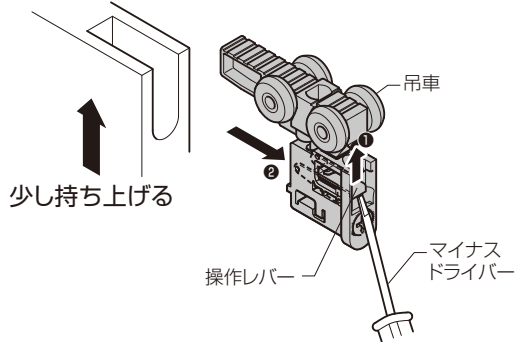


④ 本体・引手の取外し方法

● 本体の取外し方法

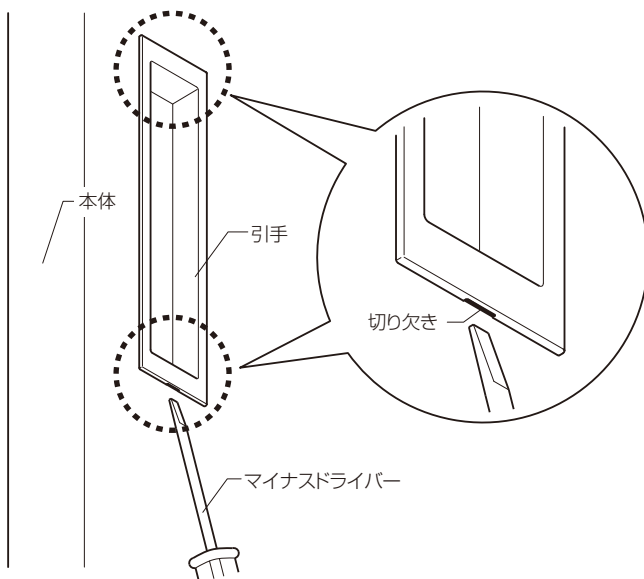
- ① 本体を少し持ち上げて吊車に荷重がかからないようにしてください。
- ② 操作レバーをマイナスドライバーなどで押上げながら引き抜いてください。

● 吊車の取外し方法



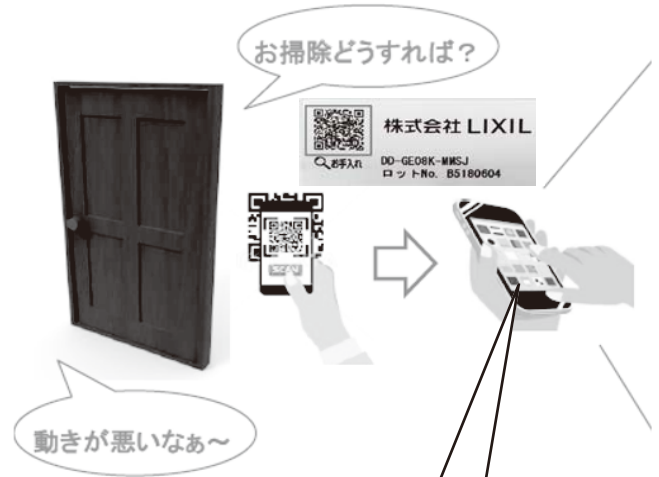
● 引手の取外し方法

マイナスドライバー等を切り欠きに入れて外してください。



⑤ 困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



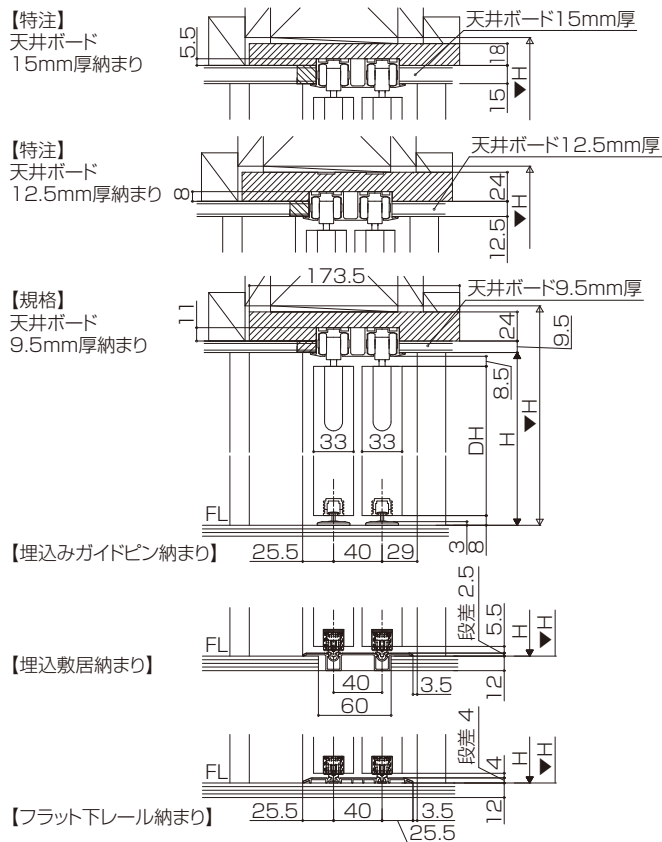
● スマホ画面

○ お客さまサポート

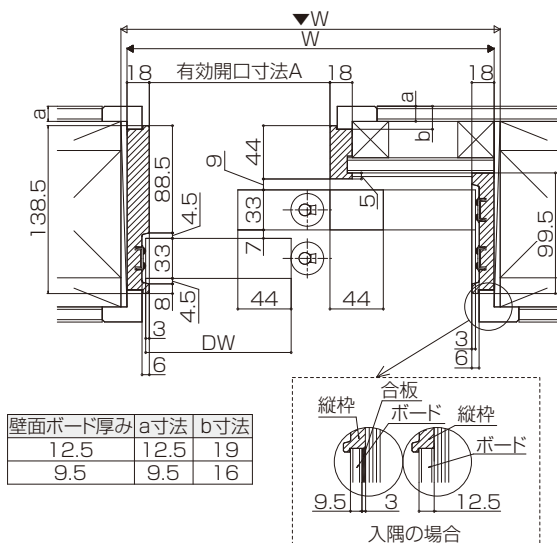
⚠	安全にお使いいただくために	+
?	よくあるお問い合わせ	+
✓	お手入れ・お掃除	+
📖	取扱説明	+
🔧	調整方法	+
!	故障かなと思ったら	+
✂	施工説明	+
🛒	部品購入	>
☎	お問い合わせ	+
🛠	修理のご依頼	>
👤	リクシルオーナーズクラブへのご登録	>

■上吊片引戸2枚建

●縦断面図



●横断面図

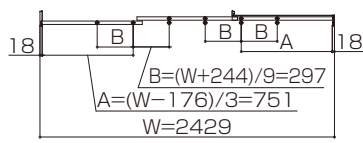


有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W24(2429)	1567

算出式: A寸法 = $(2W - 157) / 3$
DW = $(W + 58) / 3$

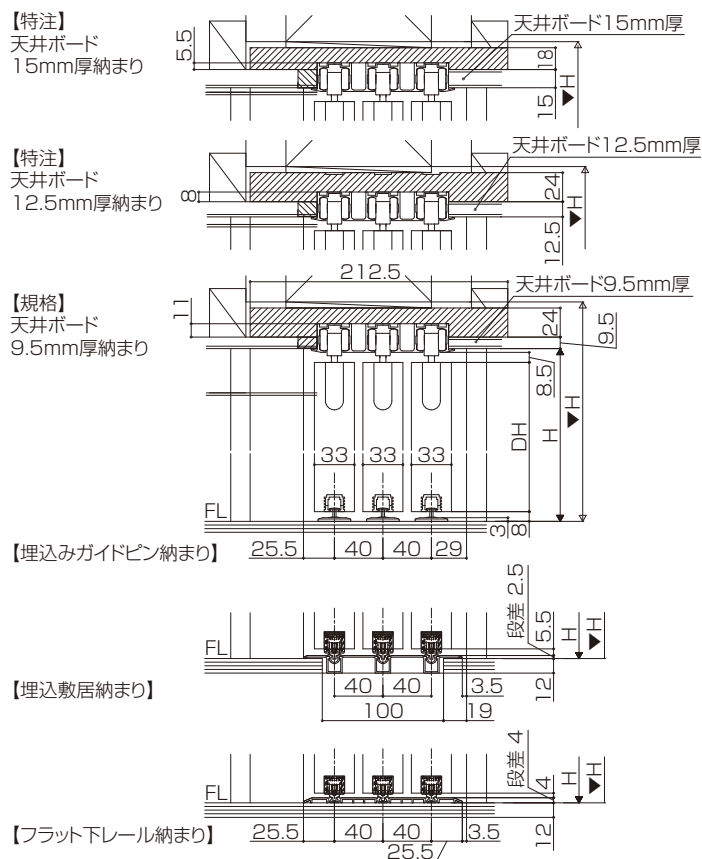
●埋込みガイドピン配置図



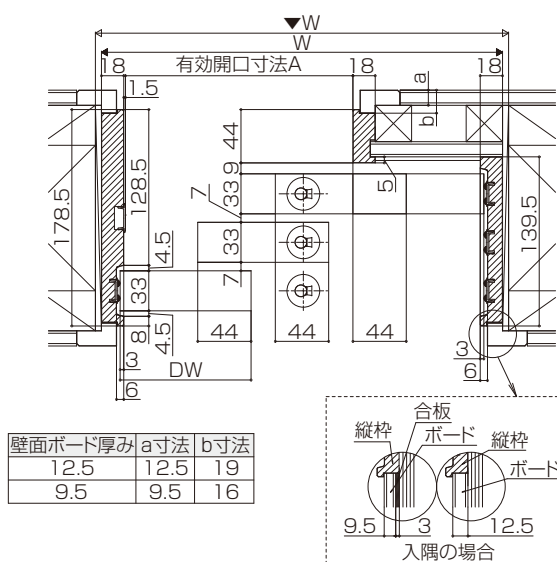
※A・B共に計算結果の小数点は切り捨てとします。

■上吊片引戸3枚建

●縦断面図



●横断面図

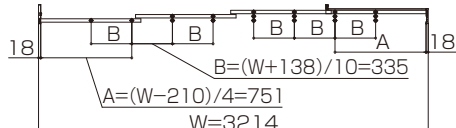


有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W32(3214)	2350.5

算出式: A寸法 = $(3W - 240) / 4$
DW = $(W + 102) / 4$

●埋込みガイドピン配置図



※A・B共に計算結果の小数点は切り捨てとします。

■上吊引違い戸2枚建

●縦断面図

【特注】
天井ボード
15mm厚納まり

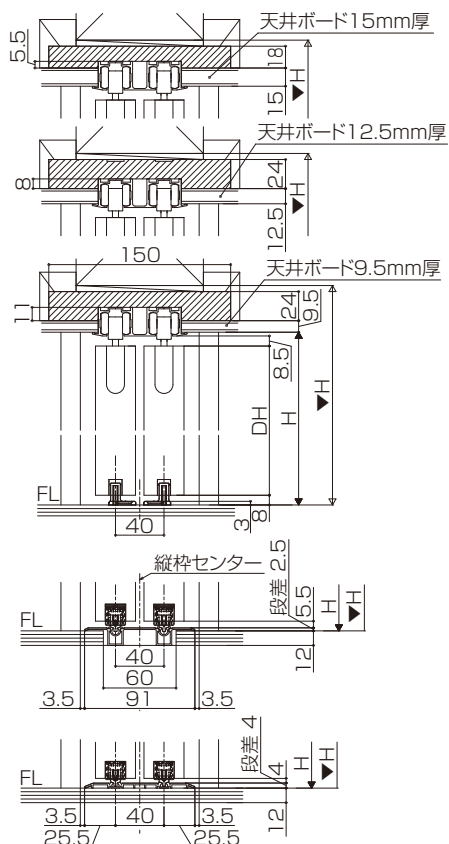
【特注】
天井ボード
12.5mm厚納まり

【規格】
天井ボード
9.5mm厚納まり

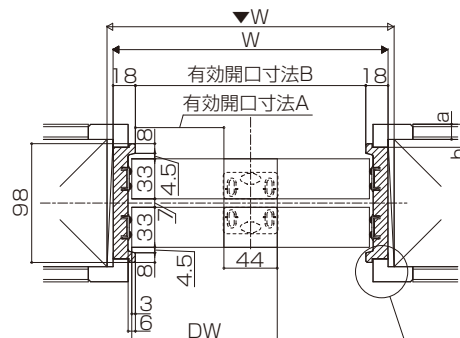
【固定ガイドピン納まり】

【埋込敷居納まり】

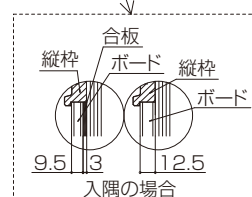
【フラット下レール納まり】



●横断面図



壁面ボード厚み	a寸法	b寸法
12.5	12.5	19
9.5	9.5	16



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	782	1608
W18(1824)	872	1788

算出式: A寸法=(W-80)/2
B寸法=W-36
DW=(W+14)/2

■上吊引違い戸3枚建

●縦断面図

【特注】
天井ボード
15mm厚納まり

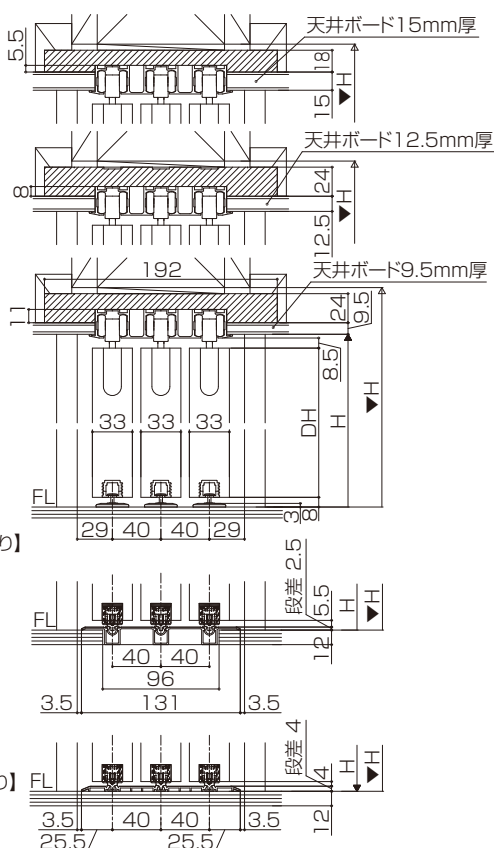
【特注】
天井ボード
12.5mm厚納まり

【規格】
天井ボード
9.5mm厚納まり

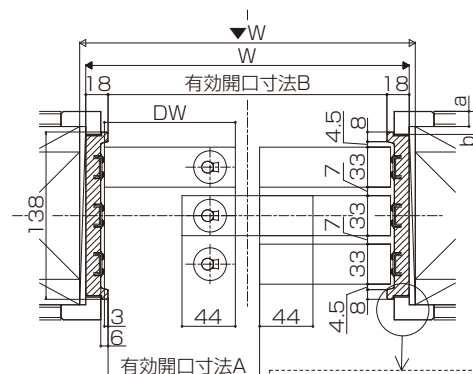
【埋込みガイドピン納まり】

【埋込敷居納まり】

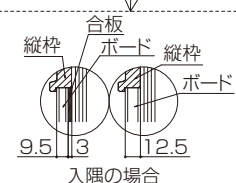
【フラット下レール納まり】



●横断面図



壁面ボード厚み	a寸法	b寸法
12.5	12.5	19
9.5	9.5	16

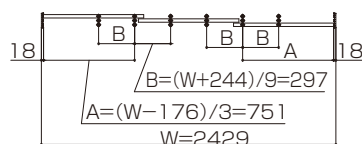


有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W24(2429)	1567	2393

算出式: A寸法=(2W-157)/3
B寸法=W-36
DW=(W+58)/3

●埋込みガイドピン配置図



※A・B共に計算結果の小数点は切り捨てとします。

